



村上輝さん × 城戸口芽衣さん × 石坂丈一市長

## 2024年新春座談会

問広報課 ☎724・2101

座談会全文はこちら▶



## みんなを一体にする力がある

**石坂** 明けましておめでとうございます。村上さんは砲丸投げ、城戸口さんはスキークロスの選手として活躍されていますが、どのようなきっかけで競技を始めたのですか？

**村上** 陸上を始めたのは小学2年生です。小学校では砲丸投げはなかったのですが、短距離走や走り幅跳びをしていました。ところが、走るのが速いわけではなくて順位はいつも下の方。中学生になる頃には走るのがしんどくなっていました。そんな時に先輩たちが砲丸投げをやっている様子が楽しそうで、自分もやってみようと思ったことがきっかけです。砲丸投げが向いていたのでしょうか。そこから何か覚醒したのです。気持ちが前向きになって、勉強も含めて何事にも一生懸命取り組むようになりました。

**城戸口** 私が初めてスキークロスをしたのは小学3年生です。コースが常設されているスキー場に行った時に一回滑ってみたら楽しかったのです。試しに大会に出たらやはり楽しくて、そのまま始めました。スキークロスは複数の選手がすごいスピードで斜面を滑って、ジャンプ台やカーブなどの障害物をクリアし、最初にゴールした人が勝つという競技です。もともと負けず嫌いな私には合っていた気がします。

**石坂** 2023年は、村上さんが第12回スポーツアワードまちだグランプリを受賞、城戸口さんは大会優勝を受けて表敬訪問してくれましたね。お二人の活躍を見て、自分もスポーツを頑張ろうとか、スポーツを始めてみようと思う人も多いのではないのでしょうか。昨年は、サッカーのFC町田ゼルビアがJ2で優勝してJ1への昇格が決定したり、フットサルのASVペスカドーラ町田も健闘して応援が盛り上がりました。スポーツは明るい話題を提供してくれるし、市民の心を一つにする力がありますね。

## 誰もがスポーツを楽しめるように

**石坂** ところで、町田市在住の村上さんと城戸口さん。町田の好きなところはどこですか？

**村上** 私は三重県出身ですが、大学の寮が町田にあって4年間過ごしました。居心地がよかったです。そのままだ町田に住んでいます。駅の周りは賑やかで便利、でも少し離れれば故郷の伊勢市と同じくらい自然が豊かで落ち着くのがいいですね。

**石坂** 村上さんは、野津田公園を管理運営する「スポーツパークパートナーズまちだ」に所属し、野津田公園で勤務されているそうですね。

**村上** 野津田公園ではマレットゴルフの運営を担当しています。参加者からは「身近にアスリートがないから村上さんに会うと元気が出る」と嬉しい声をかけていただいています。「ジュニア陸上教室」では講師を務めていて、陸上競技の基本「走る」「跳ぶ」「投げる」を教えています。子どもたちはいつも笑顔で元気いっぱい。「僕も村上コーチみたいになりたい！」なんて言われると、ますます頑張ろうと思っています。

**城戸口** 町田で好きな場所は、自然や緑が多い薬師池公園や芹ヶ谷公園です。よくボールを持って妹といっしょに出かけて、ボールを蹴って遊んだり、遊具で遊んだりしています。じっとしているより、とにかく体を動かしているのが好きなんです。

**石坂** 城戸口さんは学業と競技を両立するために何か工夫をしていますか？ 中学校でバドミントン部にも所属していると聞きました。

**城戸口** 時間を意識して行動しています。1日のなかで勉強、部活、スキーとスイッチの切り替えをするようにしています。バドミントン部の練習は放課後、スキーのトレーニングは帰ってからするので、両立はそんなに難しくありません。

**石坂** お二人とも、スポーツが人生や生活のなかであって素敵ですね。町田市では、「スポーツで人とまちが一つになる」という理念を掲げて、スポーツを通じたまちづくりに取り組んでいます。その一環として、「(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ」の整備を進めているところです。障がいがあってもなくても、みんなが同じようにスポーツを楽しめるようにすることが大事だし、パラスポーツをもっと知ってもらいたい機会にしたいですね。

## 目標に向かって着実に前進を

**石坂** 先ほど城戸口さんが公園で遊ぶのが楽しいと言っていました。日常的に体を動かすのは健康にいいですし、子どもがスポーツ好きになることにつながるかもしれません。昨年9月に完成した忠生スポーツ公園には約1万5000平方メートルの広大な芝生広場があります。自由に走り回ったりできる場所を今後も増やしていきたいですね。

**村上** 私も体を動かすのが好きで、子どもの頃はよく近所の友達と鬼ごっこをしていました。でも、近くには公園がなかったので住宅街でやっていました。広々した公園で思いっきり鬼ごっこができたなら、子どもはすごく楽しいでしょうね。

**石坂** さて、2024年はパリオリンピック・パラリンピックがあり、スポーツがますます注目されます。お二人の今年の目標を教えてください。

**村上** まずは自己ベストの更新です。そして、日本記録ですね。日本記録は18メートル85、私の自己ベストは18メートル29です。29を投げた時に日本記録に手が届く手応えがあったので、あともうちょっとというところです。

**城戸口** 今年の目標は、スキークロスで全日本ジュニア選手権の2連覇。アルペンスキーもやって

いるので、アルペンでは全国中学校スキー大会、ジュニアオリンピック出場を目指します。前回のアルペンでは5、6ターン目で失敗して、コースアウトしてしまいました。それが悔しくて、今年こそは全国大会に出場したいと燃えています。

## とにかく、やってみることが大切!

**石坂** 城戸口さんは失敗してもへこたれないで、前を向いて進んでいて、実に頼もしいですね。町田市では、そんな未来ある子どもや若者が輝くための支援に力を入れています。その一つとして、昨年12月に制定して、今年5月からスタートする「町田市子どもにやさしいまち条例」があります。これは、子どもが幸せに暮らすことができるよう、子どもの権利を大人が保障することを定めた条例です。簡単に言えば、子どもたちは声を上げて自分の気持ちや意思を自由に伝えてみよう、そして大人たちはその実現に向けて子どもたちを支えていこうというものです。城戸口さんは子どもたちや、同年代の若者たちにメッセージはありますか？

**城戸口** スキークロスの動画を友達に見せると、「危ない」とか「怖い」と言われるのですが、一回体験してみるとすごく面白いのです。だから、とにかくやってみることが大切なのかなと思います。それから、ゲームもいいけどたまにはスポーツをして体を動かそう!

**石坂** 村上さんから、人生の先輩として、子どもや若者に向けたメッセージやエールをお聞かせください。

**村上** これから山あり谷あり、いろんな壁にぶち当たるとは思いますが、自分の夢に向かって、諦めずに頑張ってもらいたい。それから今、世界で戦争や紛争などが起こっていますが、武器で戦うのではなくて、スポーツで戦ってもらいたい。

**城戸口** 私も、スポーツを通してお互いに理解できればいいのになって思います。

**石坂** お二人のお話を伺って改めて思うのは、スポーツは人と人の心を結びつけたり、自身の成長のきっかけになったりするという事です。だからこそ、年齢や障がいの有無に関係なく、どんな人にも、どんな環境にあろうとも、みんなにスポーツを楽しんでもらいたい。年だからとか、運動が苦手だからと言わないで、まずはやってみること。これからも町田市では、子どもや若者の意見を取り入れ、チャレンジを支えるまちづくりを行ってまいります。本日はありがとうございました。

むらかみ ひかる  
村上輝さん

27歳。第106回日本陸上競技選手権大会男子砲丸投げ優勝、第12回スポーツアワードまちだグランプリ(陸上砲丸投げ)。「スポーツパークパートナーズまちだ(日本体育施設株式会社)」勤務。

きどぐち めい  
城戸口芽衣さん

市立南大谷中学校3年生。「2023全日本ジュニアスキー選手権大会」フリースタイル競技・種目スキークロス(中学女子)優勝。全日本スキー連盟 2023/2024シーズン スキークロス強化指定選手。